

【めむろ未来ミーティング日程4】

令和5年1月11日(水)

13:30~14:30

北伏古コミュニティセンター

(対象:中伏古地区)

■参加者 17人

■芽室町 町長、副町長、教育長、農林課長、
環境土木課長、政策推進課長補佐

■記録 広報広聴係長

■対応・検討が必要な事項

- ①ソーラーパネルの処分に対する対策について(環境土木課)
- ②大雪等の際の学校の対応について(教育推進課)
- ③役場駐車場の出入り方法の周知について(総務課)
- ④婚活イベントの日程への配慮について(農業委員会事務局)

1 開会

2 町長挨拶

3 町からの説明事項

資料1 公共施設等再配置構想

資料2 まちなか再生の取り組み

資料3 マイナンバーカード臨時窓口

資料4 芽室町 LINE 公式アカウント説明書

4 意見交換

【意見】

最近気になることとして、①ソーラーパネルのことがある。設置から古いもので10年以上たっているものが出てきていると思う。報道によると再生処理できない有害物質があり、破損して流れ出しているような問

題も出ている。今後、売電業者の倒産も見られる中、不法に放置されたままになる可能性もあるのではないかな。

国の対策も出てきているが、十勝ではくりりんセンターで対応などになるのか。こうした有害物質への対策を十勝の市町村を挙げて練っていく必要があるのではないかな？

心配と要望ということで、ここをちゃんとやらないと、将来に向けてのソーラーパネルの推進との両立にもならないのではないかな。

それと、農業資材の価格高騰は世界的な傾向で続くと思うが、農業者は、出口となる販売価格を市場に委ねなければならず、価格を決められない。

自分たちでも最終的な出口となる販売価格の向上に向けて運動しているところであるが、国でも農業基本法改正に着手してワーキンググループが動き出しており、これに対して、地域からもバックアップしていただき、ぜひとも適正な農産物の販売価格が達成できるように、お願いしたい。

【町長】

大きな課題としてとらえられていなかった部分もあり、大変ありがたいご意見をありがとうございます。

ソーラーパネルの処分の件、有害物質のPCBなどは苦小牧で処理しているが、お話にも合ったように倒産なども相まって、メガソーラーなどでそうした放棄や破損による土壌流出などが起きると大規模な影響が出てしまうものだと思う。

基本的には当時のソーラーパネル設置時にも廃棄等に対する条件は付いていると思うが、売電も下がっているなど、現在の状況では、なにかおきてからではとは遅いかなと思う。大切な課題としてとらえていきたい。

民間で設置されたものに対して、町としてもどのように関与できるかということもあるが、大きな課題として認識していきたい。

農業の資材価格等の高騰について、食料品の値上

げに転嫁することは最終段階とも言われ、市場の経過もあり、生産者の皆さんにフィードバックされるには時間がかかると思う。

生産者の皆さんの収入の確保というところも、町の一つの課題として、国に対する要望などを実施していきたいところであり、十勝でも毎年、活性化期成会という形で、毎年、要望を出しているところであるが、引き続きしっかり頭に入れて対応したい。

【意見】

②年末の12月23日の大雪はタイミングが悪く、終業式の日で、時間を遅らせて対応するとのことであった。スクールバスも遅れなどがあり、保護者が送っていかねばならない状況であったが、電線なども切れていて非常に危ない状況であった。

他の市町村や高校などでは休業となっていたし、除雪が間に合わないという理由で結局帰りのスクールバスもなくなってしまった一方で、「完全下校」との連絡があり、無理にでも親が迎えに行かなきゃならない状況であった。

危険性やすぐに対応できない保護者もいたと思うが、そのような場合に、子どもたちを小中学校に待機させてもらえるような対応は取れないのか。少し親への心配りが欲しいと思った。

【教育長】

今回の件について、大変、申し訳なかったと思っております。他の地域でも今回の対応について同様の声をいただいている。

当初は、2時間遅れであればスクールバスを走らせられるという見込であったこと、おっしゃるように2学期の最終日ということで何とか実施してあげたいということで決断したところであった。

しかし、実際にスクールバスが走ってみると、危険な箇所も相当あって、重い雪の影響で、想定以上に除雪が間に合わないという事態になってしまい、苦渋の判断として、保護者の皆さんに送迎のご協力をお願いしたところである。学校現場も対応に混乱してしまったのも事実。

ご意見にあるお子さんのお迎えに時間がかかると

いうことであれば、待っていただいても構わないというスタンスであったが、そのことが現場にうまく伝わらず、親御さんに迷惑をかけてしまい、大変申し訳ありませんでした。

今回のような場合には、お子さんをお迎えする時間まで学校で待機していただいてもかまわないと考えている。

このような対応について、各校と共有し、しっかりと対応して参りたいと思う。

【意見】

最悪の場合、泊まらないといけないような状況だったと思う。

【町長】

そのような場合は、管理者もつけた中で、避難所的な対応をとらないといけないと思う。

【意見】

以前、道内の他の市町村で今回のような天候の中、無理して迎えに行ってお家族が事故で亡くなったという事例もあった。

【町長】

今回の件については、昨シーズンにスクールバスの事故もあり、より慎重な対応となってしまった部分もある。教育委員会だけではなく、災害としての対応も町として考えなければならないと考えている。

【意見】

マイナンバーカードの取得率とマイナンバーカードが保険証として使える病院はどのようなところがあるのか？

【町長】

ありがとうございます。マイナンバーカードについては、私としてももう少しPRさせていただきたかった思いもあるので、ここでお話しさせていただく。

現在、集計が出ている範囲で芽室町の交付率は、52.9%で、トップは池田町の67%ほど。十勝管内

では芽室町は7番目というところだが、十勝全体が、全道の平均よりも低い状況にある。

自治体への取得率向上に対して、国がペナルティではないですが、プレッシャーをかけてきているような状態で、例えば、交付率と2週間前の交付率の伸びの両方の数字を出して、それが達成していないような自治体は「フォローアップ団体」のような形で指定し、指導してきたり、これはあってはいけないことだと思うが、補助金や地方交付税を減額するようなことも言い出してきており、国は何とか強引にも国民の皆さんにマイナンバーカードを持たせようという状況。

また、各自自治体が交付率向上のためにがんばっているのですが、全体の平均交付率はどんどん上がっているような状況で、芽室町もがんばっているが、なかなか追いつかない状況。そうは言っても、マイナンバーカードを作る作らないは個人の自由としているので、私としてはマイナポイントとして2万ポイントもらえるからどうこうというよりも、マイナンバーカードを持つことによるメリットをしっかりと示していくことが大切だと思う。

将来マイナンバーカードは生活のプラスになるものに間違いないと思う。

実際に、ご質問をいただいたように保険証としても町内では多くの医療機関や薬局で使えるようになってきている。

■すまいる11月号の段階

- ・公立芽室病院
- ・松井歯科医院
- ・藤村歯科・矯正歯科医院
- ・めむろだいいち歯科クリニック
- ・ナカジマ薬局めむろ店
- ・正木薬局めむろ一丁目店

■1月8日段階の追加

- ・はまだ内科医院
- ・いしがき歯科クリニック
- ・つがやす薬局芽室店



※厚生労働省ホームページで随時公開(QR参照)

端末にマイナンバーカードをかざせば、受診券や保険証を提示することなく受付できる。また、病院やお薬の履歴も確認できるようになっていたり、確定申告時期の医療費控除の手続きでも使えるように実際になってきている。このような住民生活にも密着したサービスがあることをアピールしないと、作ろうという行動にもつながらないことも理解する。

繰り返しになるが、マイナンバーカードは将来、生活に密着した様々なサービスを受けられるカードになると思うし、公的なサービスや、民間で使えるサービスも増えてくると思う。ですので、ご本人だけではなく、ご家族ともども、この機会に、せっかくなら2万ポイントがもらえる期間も2月末まで延長になったので、ぜひ、作っておいてもらいたいなと思っている。そのような考えで夜間窓口や臨時窓口を開設させていただいているので、ぜひご利用いただきたい。

また、マイナンバーカードについては、役場でもいろいろなサービスで使えるように研究していきたい。次年度から力を入れるDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進の中でやっていきたいと思うので、農業のDXもそうであるが、デジタル化の促進とともにしっかりやっていきたい。

改めてマイナンバーカードの作成は、強制とは言えないが、ぜひ作成の検討をお願いしたい。

【意見】

3点ほど申し上げたい。

③1つ目は役場の北側の駐車場について、もう少しきちっと入り方を周知すべきではないか。出入りが逆になっている人や、正しい入口で入ってきて、頭から前方のスペースにそのまま停めてしまうので、出る時には逆走になってしまうような状況も見受けられる。

全部、入口出口にしてしまうかなど、対応してほしい。

2つ目は、役場駐車場がなかった時に周辺のいろいろな駐車場を使ったが、最近、車が大きくなっているのので、どこの駐車場も古い規格で狭くて停められない状況もある。農協の駐車場くらい幅があればよいと思う。今後、まちなかに来る人のためにも、量は確保できていると思うが、広さを確保するようにお願いしたい。

④3つ目、農業委員会から婚活の案内が来るが、日程が悪すぎる。

具体的には、11月23日にやりますと言ってもめむろ大感謝祭もあるのに、対象となるような人たちは絶対に出られない日だと思う。また、小麦の収穫の時期に1泊2日の婚活の案内が来るなど、以前も指摘したが、絶対参加できないような日程を組むのはどうなんだろうと思う。それと関連してホワイトキーさんが実施している婚活イベントだったと思うが、時間に会場に入ってもすでに始まっていたりと、疑問に思うような対応が多い。

【町長】

役場の駐車場については、当初ほどではないものの、混乱する場面もまだ見受けられるので、改めて周知も必要かと思うが、一方で多くの方にご理解もいただけてきているのか、慣れてきてスムーズに停めていただいている状況も見られる。当初からいろいろご意見も、改めて周知について検討したい。

【副町長】

駐車場の幅については、中央公民館の前はかなり前に対応させていただいていることと、消防前については、昨年8月に引き直しを行い広くしたところであるが、それでも狭いとなるとなかなか難しい部分もある。

少しずつ対応しているが、まだ旧規格のところもまだ何か所かあるので、できるところからやっていきたい。

【町長】

婚活の日程については、農業委員会で対応しているので、なかなか私の方も事前にわからない部分もあるが、そのような日程はよくないと思うので、あらためて、農業委員会事務局にお話しさせていただく。参加者目線で日程を決めないでだめだと思う。

【意見】

まちなか再生のくくりかと思う。去年はまちなかでも、いろいろなイベントが復活し、私も、かちフェスや先日高校生の実行委員が主催してくれた駅前めむろクリなどで、ブースを出して、ムッピー(ムロピーナッツ)の販売なども関わらせてもらった。その時感じたことをお話ししたい。

まず、農産物のことで、野菜そのものを売るのも必要だが、加工してこうしたムッピーであれば飲み物にするなどすると、イベントで売るとお客さんも買いやすくなる。そんな経験から、素材だけじゃなくて、商品として提供して、アピールすることは大事だなと思っている。

また、ほかにも、飲食店がムッピーフェスと題して、食材としてムロピーナッツを使い、いろんなメニュー提供などもチャレンジしてくれたが、やはり、そういうイベントをめがけてきてくれるお客さんがいたり、気に入ってくれて期間が終わっても芽室町に来てくれるようになったといった話も聞くので、非常に良かったと思う。でも、メディアの発信が難しく、意外にそういったことを知らない人も多いことや日本一のスイートコーンといったような情報も知らない人がいることがわかり、加えて、どこでその商品が買えるのかということもなかなか伝わらないということもわかった。

そんな意味でも、こうしたイベントなんかは非常に大事だなと思う。ウイズコロナということで、改めて対面のイベントをうまく活用して、イベントに来てもらうとか、その後、芽室町にまた来てもらえるようにつなげていきたい。

その中で気になることは、担当課以外の職員にも仕事からプライベートかはどちらでもいいので、イベントの中に参加して、同じ目線で見てもらいたいと思う。

かちフェスのサウナイベントも、管内だけでなく、管外からもサウナファンが来て、そこからつながって道外の人にもつながっている。これはすごいことだと思う。

今回のかちフェスのようになかなか中心部の公園をイベントで使っているという姿勢の町はないと思うので、今後も場所提供だけでもいいので、町には引き続き積極的な姿勢でいてほしい。

【町長】

前段の加工品のお話で、農産物そのものの魅力はあると思うし、どこにいても自信を持っていると思うが、野菜にせよ何にせよ、本州と違って1年に1作と旬が決まってしまうので、素材だけだと時期が限られることになるが、ご意見のように、加工品にして付加価値をつけて、年中流通させるという考え方が素晴らしいと思っている。

例えば、今年度、楽天ふるさと納税でスイートコーンが11月に全国1位になった。これは来シーズンの分の生食のスイートコーンに対してそれだけご支持をいただいたということであるが、それだけでなく、スイートコーン関連の商品が、ふるさと納税に限らず出てくれば、期間限定の生食だけでなく、1年間を通じておいしく消費できるということになれば、もっともっと伸びてくるといいなと思っている。

生産者の方からもご指摘いただくが、そうした加工にチャレンジする施設が町にあまりないというご意見もあるので、そうした加工品づくりにチャレンジできるような場も必要なのではないかと思っているところである。ですので、これからのまちなか再生の議論の中でも、そのようなチャレンジできる加工施設の検討も必要かなと思っているところ。

それと、かちフェスは実行委員会組織として動いているなかで、町は前に出ていくということではなく、なるべく後方支援・側面支援でいこうということで、例えば担当の公園の部署や排水関連で水道課などが担い、検討の上、対応した。当初は、きれいな芝生の上でイベントをやって痛んだらどうしようということも頭にはあったが、結果的には天気も恵まれ、芝も大丈夫で、皆さんのマナーのおかげで、会場のごみも少なかったということを知り、よかったなと思っている。町としても今後もあいつたイベントを実施していただけるような姿勢でいたい。

また、ご意見にもあったが、今回のイベントには、役場職員も完全にボランティアとして20人前後、駐車場係をやったり、ごみの対応をしたりと参加していて、良いことだと思っている。

今後も同じようなイベントを実施していただけるということであれば、役場がどういう形で関わればよいかということを考えている。場合によっては、業務としていいかもしれない。

今回については、急遽お話を聞いて、日程的にはきつかった部分もあるが、大変いいイベントだったと思う。めむクリについても他市町村の高校生も関わってくれたりしていたと思うので、本当に良い取り組みだと思う。なので、役場が役場がということよりも、次年度以降については、あらかじめ把握しながら、やりたいといってくださいの気持ちをうまく汲んで、協議しながら進めていけるような役場の在り方を考えながら、今後も取り組んでいきたい。

【意見】

同じく、まちなかのことで、駅前のロータリーはきれいになったと思うが、ライジングの跡はどうなるのかなと思う。昨年11月下旬に、神奈川県川崎市にいったみたが、あまりに活気があってカルチャーショックを受けた。滞在中に川崎の方とお話すると、(芽室町にある)日本甜菜さんの株を持っているというようなおもいがけない、おもしろいつながりもあった。

そういった活気のある所を、職員の皆さんなど、いろんな人に見てもらって、将来像を描くことに役立てて

もらいたいなという気持ちがある。メインの話としては、ライジング跡がどのようになるのかということだ。

【町長】

ライジングの所有はご承知のように、商工協同組合になるので、直接町がどうこうできるということではないが、いろいろと計画されているということは聞いている。その計画が実現可能かについては、まちなかの在り方にも関連するので、お話は聞きたいし、なにかに相談に乗れる部分があれば前向きにというスタンスである。

ただ、あのままずっとというわけにはいかないと考えている。ただ、今は、いろいろと建設しようにも、やはり資材高騰もあり、計画があってもなかなかふみこめないところも実際ある。

別の話しであるが、借上げ公住も募集して、最初の段階ではいくつかの事業者から、借上げ公住の建設に手が挙がっていたが、フタを開けると、やれるところがないというような状況になってしまっている。そういう意味では建築物を建てるということについては町も苦労している。

民間施設も立ちにくくなっているのが実態。

ただ、まちなか再生では、川崎市のお話もされていたが、計画の中でどんなまちにしたいかを決めたら、行政もある程度資金投入しないといけないとも思っている。基本的には、民間の皆さんのお力も借りてと思っており、今後は、起業(自ら起こしていきたい人)に対しては、ビジョンマップ完成の前であっても、支援できるような方法を今考えているところ。

昔のように繁盛しているお店があったりしたが、その昔の状態に戻すというよりも、魅力のあるところ、拠点のような、来るきっかけになるような場所が必要であると思っている。

これらをまちなか再生の検討委員会で検討してもらい、町としても成案化していく流れとしていく段階にある。

【意見】

温水プールや、総体の整備に付随して、町内には温

泉が一つもない状況になっていて、温水プールに温浴施設ができると聞いているが、プールの付帯施設であれば、お風呂だけに行きたいという目的の人は利用しにくいし、プールの時間に合わせると思うので、営業時間も縛りがあると思う。

完全に温泉として扱うのは難しいと思うが、それだけを目的とするような人が利用しやすいような時間帯設定なども検討してほしい。

鳳の舞を使っていた人が、帯広の施設に行っているような状況で、そんな人と会話をしたりもするが、やはりある程度遅い時間帯にやってないと使いづらいよねということは話している。なので、そうした利用できる時間のことも検討してほしい。

温泉がないことは寂しいことと思う。難しいかもしれないがサウナがあったり、他の町の人も利用できるようなものがあればいいと思う。

【町長】

温泉の件については、ご意見はたくさんいただいている。鳳の舞さんの件も、なんとか再開に向けてやっていただけたところがないかなど、継続的に交渉してきたが、その後、結果的には、公衆浴場としては一度、廃業となった。

それと今回温水プールにできるものは、どちらかという利用者向けで、施設もそんなに大きなものではないが、指定管理者となるオカモトさんも公衆浴場にしたいという意向があり、保健所に認可を求めていくということなので、認可されれば、公衆浴場として、これまでのように町が支援するということはあると思う。

それと、もう一つ別の切り口からの考えとして切り替えていただきたいが、「まちなか再生」の観点で、そういう温浴施設があることはまちなかの大きな魅力の一つだと思うので、そのようなことが実現できないかなんということは水面下では動いている。結果としてどうなるかはわからないし、時期を明言できるわけではないが、そのように動いていることはお伝えしたい。

ただ、こうした温浴施設を公共としてできるかと

いったら、いま、自治体がそうした施設を持つことは財源的にも厳しい。民間の力を借りてできないかということではなんとか実現できないかと検討をしているところ。

足寄町では、5年前に公衆浴場がなくなってどうしても引き受け手がなくて、2億ほどかけて町営としているようなところもある。

ご意見はたくさんいただいているが、公衆浴場でなくとも、魅力ある施設としての温浴施設も検討中ということはお話しさせていただきたい。

14時30分終了

